

日本橋川河川清掃活動 (第25回)

50名の有志により春の日差しの差し込む穏やかな日に25回目の日本橋川河川清掃が実施されました。2日前に降った雨の影響か、かなり臭いが感じられました。また、今回から水質、ゴミの種類、生物の調査を行い川の状態を確認して継続して行く予定です。

日時 2013年4月26日(金) 10:00~12:00

参加メンバー 主催：名橋「日本橋」保存会
日本橋地域ルネッサンス100年計画委員会
常盤橋フォーラム

- 名橋「日本橋」保存会
- 日本橋地域ルネッサンス100年計画委員会
- 常盤橋フォーラム
- オフィスドゥ
- 香港上海銀行
- 鹿島建設株式会社
- 清水建設株式会社
- みらい建設工業株式会社
- マンダリンオリエンタルホテル東京
- 株式会社 三越伊勢丹
- 三菱地所株式会社
- 三井不動産株式会社
- 三井共同建設コンサルタント株式会社
- 中央区商工観光課

50名が参加!

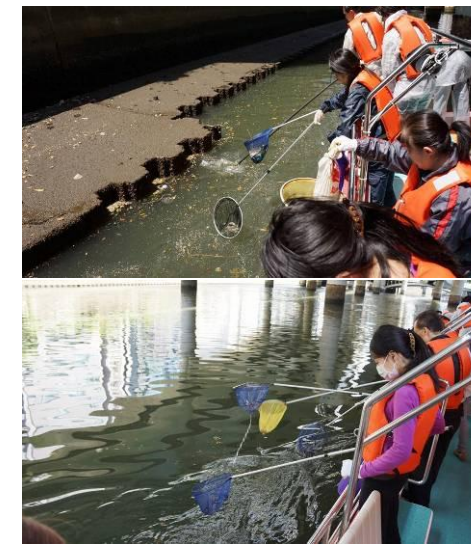
の皆様にご参加いただきました(順不同)。

- 協力：東京都第一建設局
(河川清掃船によるゴミの回収作業)

【2013年の予定】

- ~~2月22日(金)~~ 済
- ~~4月26日(金)~~ 済
- 6月14日(金)
- 7月19日(金)
- 9月20日(金)
- 11月15日(金)

次回は、
6月14日(金)
に行きます。



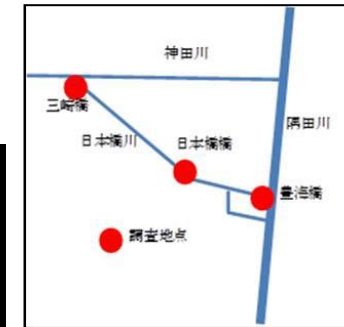
今回から水質調査を実施することにしました!!

<気象条件等>

当日の天候	晴れ、気温22℃、降水量0mm
直近の降雨	4月24日7時から25日1時にかけて合計39mm
潮位・流向	132cm → 121cm、下げ潮時

<簡易水質調査結果>

地点/項目	単位	目標	三崎橋	日本橋	豊海橋
透明度	cm	200以上	140	70	120
COD	mg/L	5未満	8	6	7
臭気	-	1以下	4	4	4
リン酸態リン	mg/L	0.05未満	0.75	0.35	0.20
硝酸態窒素	mg/L	2未満	10.0	7.5	3.0
亜硝酸態窒素	mg/L	0.02未満	0.2	0.5	0.2
アンモニウム態窒素	mg/L	0.2未満	0.2	1.0	1.5



COD

mg/L	0	0~5	5~10	10~20	20以上
評価	非常にきれい	きれい	少し汚れが入っている	かなり汚れが入っている	汚れが進んでいる

臭気

-	0	1	2	3	4	5
評価	無臭	やっと感知できる	弱い臭い	楽に感知できる	強い臭い	強烈な臭い

各項目の殆どが目標値を上回っていた。24日の降雨によるものと考えられる。臭いも硫化水素臭いをかなり感じた。ヘドロの蓄積が考えられる。今後データを蓄積することにより降雨と水質の関係等、日本橋川の特徴が見えてくるものと考えられる。

※水質調査結果は簡易試験(バックテスト)によるものであり、厳密な数値を示すものではありません。

用語解説

【COD】化学的酸素要求量(評価の目安 雨水・川の上流:1~2mg/L、川の下流:2~10mg/L、望ましい値0~5mg/L) 水中にある物質が酸化剤で酸化や分解される時に消費する酸素量。値が高いということは水の中に反応しやすい物質が多い。
 【リン酸態リン】(評価の目安 きれい:0.05mg/L未満、0.05~0.2mg/L:少し多い) 樹木や水草、食べ物のかす、肥料等のリンの一つの形態。生活排水、肥料、窒素とともに富栄養化の要因となる物質。
 【硝酸態窒素】(評価の目安 少ない:1mg/L、通常1~2mg/L前後) アンモニア、亜硝酸が酸化されることによって生成される有機性窒素体の最終生成物が硝酸です。水道法では亜硝酸態窒素と硝酸態窒素との合計量が10mg/L以下に規制されています。
 【亜硝酸態窒素】(評価の目安 きれい:0mg/L、通常:0.02mg/L以下) 亜硝酸値が高い川の水は、近くに汚染源があることを推定させます。亜硝酸は酸素をとる力がたいへん強いので魚の体にも大きな影響を与えます。
 【アンモニウム態窒素】(評価の目安 きれい:0.2mg/L未満、少し多い0.5mg/L以上) タンパク質の有機物の分解によってできる。生活排水の汚れを示す1つの目安。アンモニウム値が高いということは、生活排水、工場排水、田畑からの肥料分が流入していることが考えられます。
 【臭気】(評価の目安 0:無臭、1:やっと感知できる臭い(検知閾値濃度)、2:何のにおいであるかわかる弱いにおい(認知閾値濃度)3:楽に感知できるにおい、4:強いにおい、5:強烈なにおい)

<ゴミの種類>

- | | |
|-----------|----------------|
| ビニール袋類 27 | おにぎり 1 |
| 空き缶 6 | オレンジ 1 |
| タバコ 5 | 仏像 1 |
| 発泡スチロール 4 | タッパー 1 |
| ペットボトル 4 | 牛乳パック 1 |
| 紙類 2 | 段ボール 1 |
| 木の枝 2 | ピンポン玉 1 |
| 弁当 1 | (※今回はB班のみのデータ) |

ビニール袋類が特に多い。人為的に捨てられたものが殆どであった。

<確認された生物>

- 江戸橋から下流域でカモメ類の集団(50~100個体)
- 亀島川合流地点付近でカモ類とサギ類採餌活動は殆ど見られず、休息しているものが大多数であった。

